

## 2. 医療分野への女性の参画

### (1) 医療分野における女性の参画の実態

#### ① 女性医師・看護師数

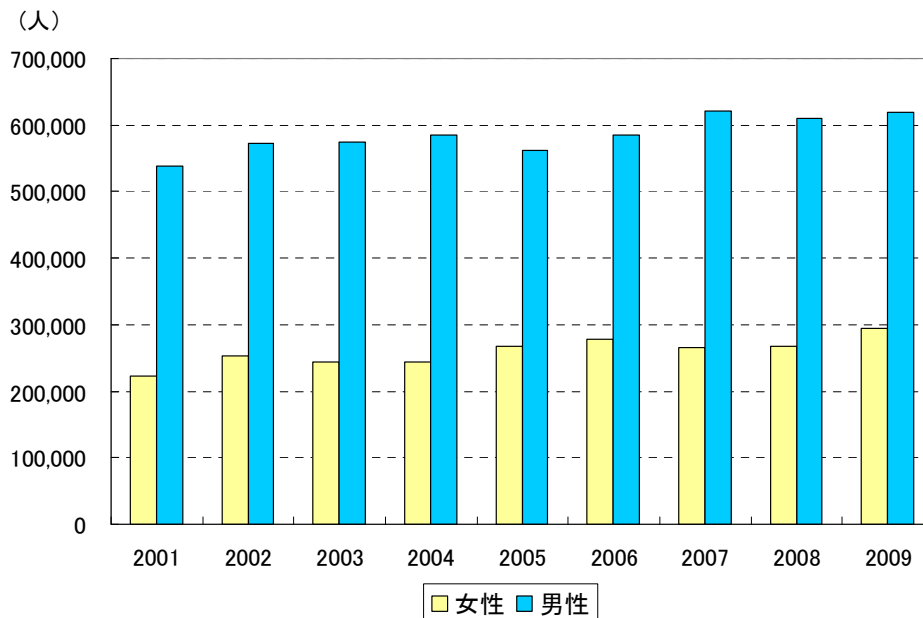
医療従事者のうち女性が占める割合は約3割となっている。看護師においては、女性が9割以上を占めている。

図表 5-8 女性医師数の推移

年	女性比率(%)	女性	男性	全体
2001	29.3%	222,973	538,027	761,000
2002	30.6%	252,450	572,550	825,000
2003	29.9%	244,881	574,119	819,000
2004	29.4%	244,020	585,980	830,000
2005	32.3%	268,090	561,910	830,000
2006	32.2%	277,886	585,114	863,000
2007	30.0%	266,400	621,600	888,000
2008	30.5%	267,485	609,515	877,000
2009	32.2%	294,308	619,692	914,000

出典：U.S. Bureau of Labor Statistic (2009)、*Labor Force Statistics from the Current Population Survey: CPS Labor Force Statistics from the Current Population Survey*, “Physician and surgeons”より作成、

図表 5-9 女性医師数の推移



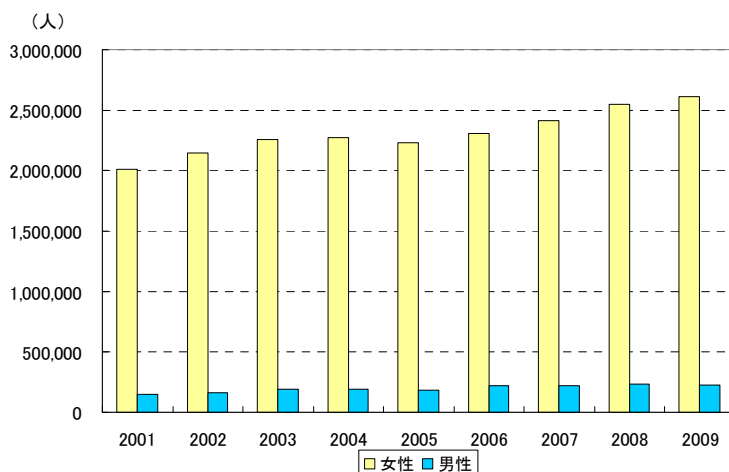
出典：U.S. Bureau of Labor Statistic (2009)、*Labor Force Statistics from the Current Population Survey: CPS Labor Force Statistics from the Current Population Survey*, “Physician and surgeons”より作成

図表 5-10 女性看護師の推移

年	女性比率(%)	女性	男性	全体
2001	93.1%	2,012,822	149,178	2,162,000
2002	92.9%	2,146,919	164,081	2,311,000
2003	92.1%	2,255,529	193,471	2,449,000
2004	92.2%	2,271,808	192,192	2,464,000
2005	92.3%	2,229,968	186,032	2,416,000
2006	91.3%	2,308,977	220,023	2,529,000
2007	91.7%	2,410,793	218,207	2,629,000
2008	91.7%	2,547,426	230,574	2,778,000
2009	92.0%	2,611,880	227,120	2,839,000

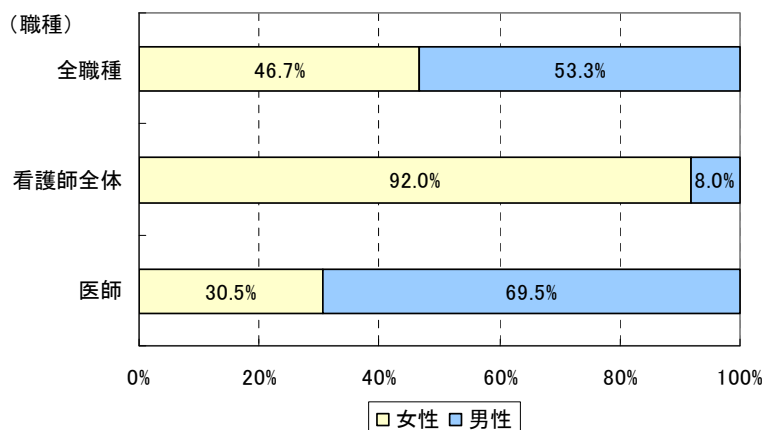
出典：U.S. Bureau of Labor Statistic (2009)、*Labor Force Statistics from the Current Population Survey: CPS Labor Force Statistics from the Current Population Survey*, "Registered Nurse"より作成

図表 5-11 女性看護師の推移



出典：U.S. Bureau of Labor Statistic (2009)、*Labor Force Statistics from the Current Population Survey: CPS Labor Force Statistics from the Current Population Survey*, "Registered Nurse"より作成

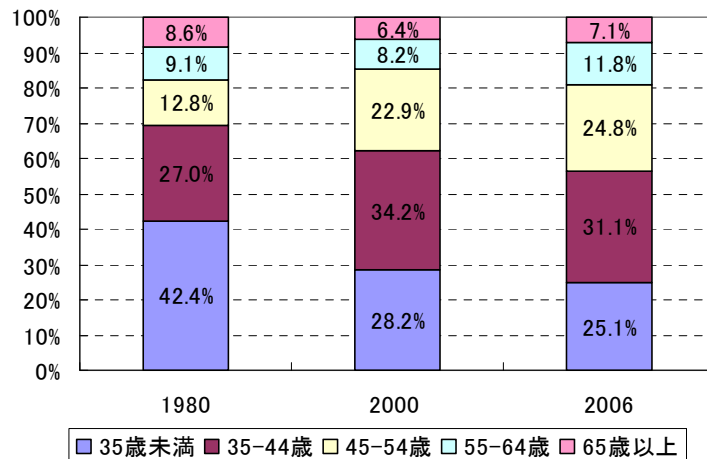
図表 5-12 男女労働者比率 (医師・看護師・全職種) (2008年)



出典：U.S. Bureau of Labor Statistic (2009)、*Labor Force Statistics from the Current Population Survey: CPS Labor Force Statistics from the Current Population Survey*より作成

年齢別女性医師の割合では、1980年には35歳未満の割合が最も多かったのに対し、2000年以降は35歳～44歳の女性医師の割合が最も多くなっている。また、45歳以上の女性医師の割合も増加傾向にある。

図表 5-13 年齢別女性医師の割合

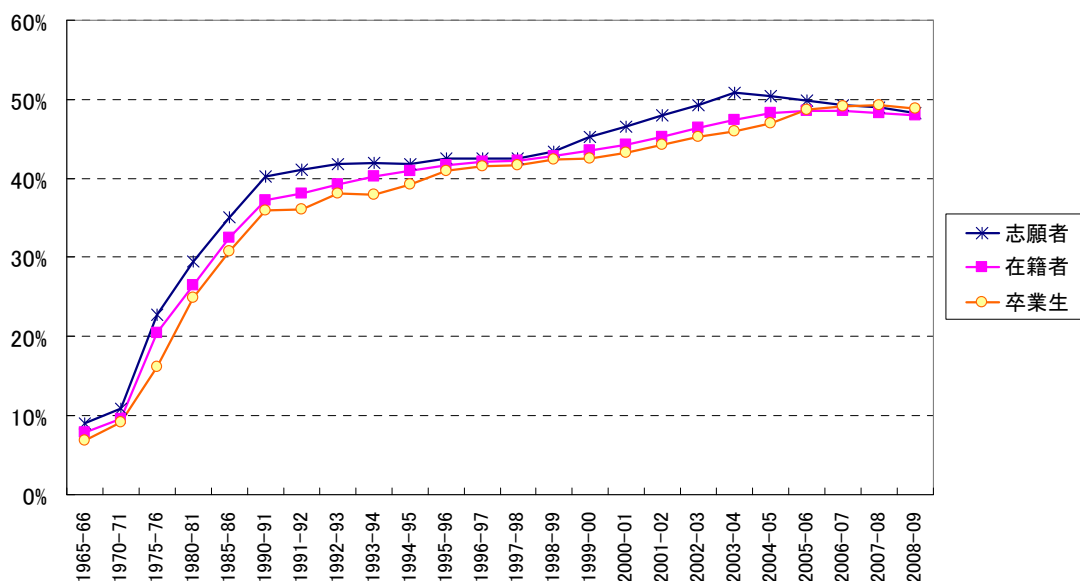


出典：アメリカ医科大学連盟（AAMC）（2009）, *Women in U.S. Academic Medicine Statistics and Benchmarking Report 2008 - 2009*より作成

## ② 医科大学在籍者・教員に占める女性の割合

医科大学（Medical School）における女性志願者、在籍者、卒業生の推移を図表 5-14 に示す。志願者、在籍者、卒業生は1970年から1990年にかけて急速に増加し、90年代から2009年にかけてはその増加率は緩やかになっている。1965年時点では、医科大学に在籍する女性の割合は10%未満であったが、2009年にはほぼ半数の48%になっている。

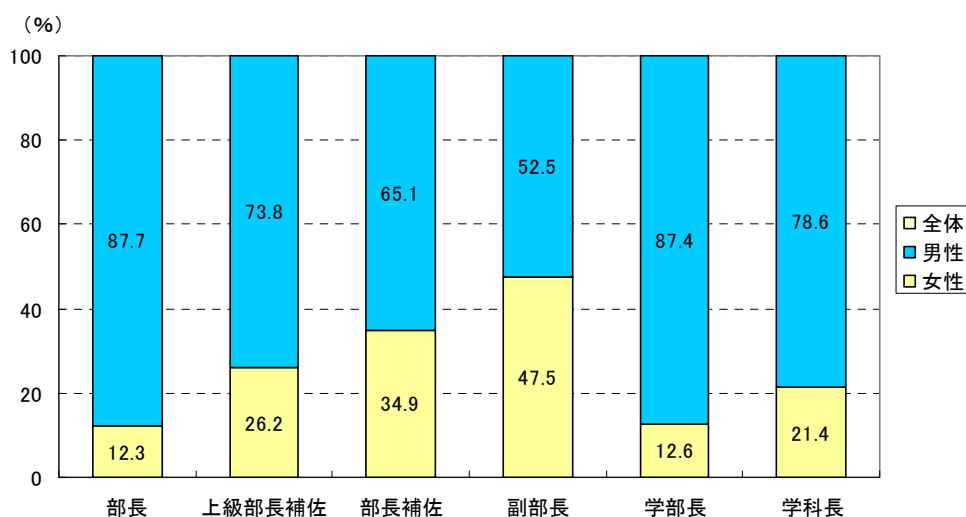
図表 5-14 医科大学における女性志願者、在籍者、卒業生の推移



出典：アメリカ医科大学連盟（AAMC）（2009）, *Women in U.S. Academic Medicine Statistics and Benchmarking Report 2008 - 2009*より作成

医科大学における意思決定ポジションへの女性の参画状況を図表 5-15 に示す。2008 年のデータによると、副部長 (Assistant Dean) のみ、女性比率がほぼ半数となっているが、その他の職階については、いずれも 10% 台~30% 台と低くなっている。特に、部長 (Dean) については女性の割合は 12.3% に留まっている。

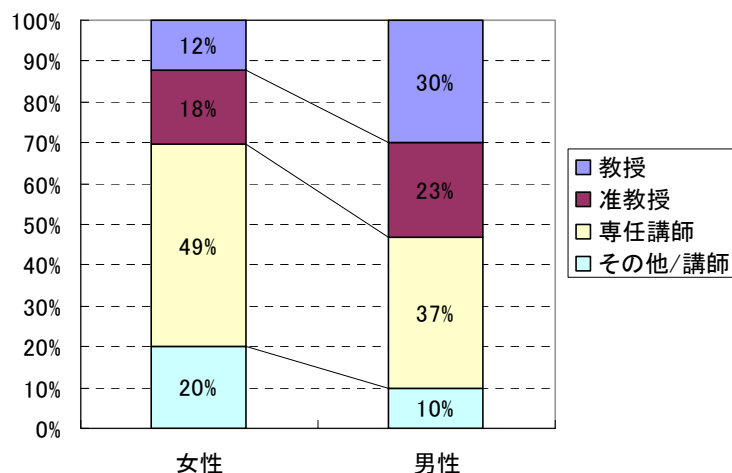
図表 5-15 医科大学における意思決定ポジションへの女性の参画状況 (2008 年)



注) 各項目の原文は以下のとおり; 部長 (Dean)、上級部長補佐 (Senior Associate Dean)、部長補佐 (Associate Dean)、副部長 (Assistant Dean)、学部長 (Department Chair)、学科長 (Division/Sector Chief)

出典: アメリカ医科大学連盟 (AAMC) (2009), *Women in U.S. Academic Medicine Statistics and Benchmarking Report 2008 - 2009* より作成

図表 5-16 医学部の教員の職種 (2009 年)



出典: アメリカ医科大学連盟 (AAMC) (2009), *Women in U.S. Academic Medicine Statistics and Benchmarking Report 2008 - 2009* より作成

### ③ 診療科ごとの女性医師・研修医の状況

診療科ごとの女性医師数の推移をみると、1970年代から2006年にかけて、女性医師数が最も多い診療科は内科と小児科となっている。

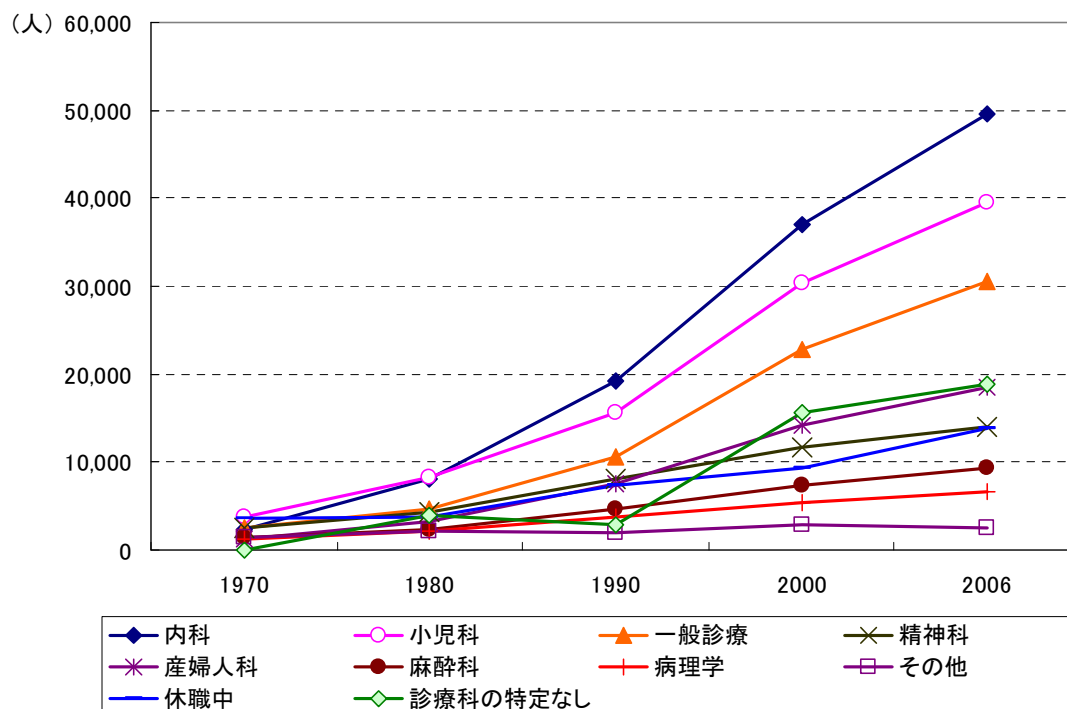
図表 5-17 診療科ごとの女性医師数の推移

(単位：人)

診療科	1970	1980	1990	2000	2006
内科	2,383	8,130	19,171	37,073	49,541
小児科	3,816	8,189	15,675	30,322	39,468
一般診療	2,486	4,677	10,602	22,739	30,471
精神科	2,459	4,361	8,170	11,648	14,066
産婦人科	1,337	3,243	7,551	14,124	18,520
麻酔科	1,516	2,388	4,608	7,335	9,369
病理学	1,273	2,215	3,716	5,408	6,620
その他	1,391	2,136	1,968	2,937	2,452
休職中	3,543	3,773	7,438	9,406	13,875
診療科の特定なし	0	4,030	2,844	15,621	18,894

出典：American Medical Association (2008) , *Physician Characteristics and Distribution in the U.S., 2008 Edition* より作成

図表 5-18 診療科ごとの女性医師数の推移



出典：American Medical Association (2008) , *Physician Characteristics and Distribution in the U.S., 2008 Edition* より作成

女性の研修医の数は増加傾向にあるものの、女性の割合が高い専門分野について大きな変化は見られない。女性研修医の割合が最も高いのは、産婦人科 78%、小児科 69%、遺伝医学 (Medical Genetics) 66%、皮膚科 61%となっている。他方、男性研修医をみると、最も割合が高いのは、脳神経外科 88%、整形外科 87%、胸部外科 87%、泌尿器科 78%となっており、外科分野に占める男性の比率が多いことがわかる。なお、過去 10 年間、女性研修医の割合が最も増加した分野は胸部外科 (6.3%から 13.2%へ増加)、泌尿器科 (11.3%から 22.2%へ増加)、整形外科 (7.5%から 12.9%へ増加) である<sup>109</sup>。

図表 5-19 性別別研修医が最も多い分野 (2008 年)

順位	女性		男性	
	分野	%	分野	%
1	産婦人科	78%	脳神経外科	88%
2	小児科	69%	整形外科	87%
3	遺伝医学	66%	胸部外科	87%
4	皮膚科	61%	泌尿器科	78%

出典：アメリカ医科大学連盟 (AAMC) (2009) , *Women in U.S. Academic Medicine Statistics and Benchmarking Report 2008 - 2009* より作成

#### ④ 両立・復職支援の現状

連邦法に基づき、女性医師や看護師に対する支援が実施されており、本調査では、医療分野特有の両立・復職支援が実施されているという事実は確認できなかった。女性医師や看護師の両立・復職支援については、勤務先である医療機関や研究機関の方針によって大きく異なっている。

#### (2) 医療分野における女性の参画を阻む障害

##### ① 女性に対する偏見

米国女性医師会関係者へのヒアリングによると、医療従事者を対象に「女性らしさ」と「男性らしさ」のイメージについて尋ねた調査があり、これによると「男性らしさ」に含まれる要素と、「リーダーに求められる要素」が合致したという。人々が無意識に「リーダーシップ=男性らしさ」という固定概念を有していることから、女性が上級職階に昇格する際、これらの無意識の偏見により、男性と比較し不利な立場に置かれてしまうという意見が聞かれた<sup>110</sup>。

##### ② 長時間労働

医師の多くは長時間かつ不規則な労働時間を強いられている。2006 年のデータによると、

<sup>109</sup> AAMC, *Women in U.S. Academic Medicine: Statistics and Benchmarking Report 2008 - 2009*

<sup>110</sup> 米国女性医師会関係者ヒアリング

フルタイムで勤務している医師の3分の1が、週60時間以上働いており、これには女性医師も含まれている。また、医療に占めるパートタイム職員の割合は8%と、他の職業が15%であるのに比べ少ないことから、医師の多くはフルタイム職員として長時間労働を行っていると考えられる。さらに、休日も緊急の呼び出しや患者からの電話での相談などが多いため、労働時間に含まれない負荷も生じている<sup>111</sup>。

### ③ 医学研究分野における障壁

大学に勤務している女性の中には週7日出勤する職員もおり、家庭との両立が課題となっている。一部の大学は、学内に託児所を設けているが、すべての大学に設置されているわけではない為、女性職員の中には民間の託児所に預けざるを得ないケースも多い<sup>112</sup>。州立大学では、州政府より福利厚生のための予算が提供されることもあるが、託児所等の設置については大学側の判断に任せられるため、学校間の差が大きくなっている。また、同じ大学内でも学部によって方針が異なるケースも多々あり、統一的なシステムは設定されていない。

医学研究の分野では、専任講師（assistant professor）に占める女性の割合は約4割であるのに対し、准教授（associate professor）になると女性の割合は急減する（図表5-20）。

図表 5-20 医学部の教員の職種（2009年）

職種	女性(人)	男性(人)	女性割合
教授	5,361	24,478	18.0%
准教授	7,814	18,443	29.8%
専任講師	21,376	30,546	41.2%
その他/講師	8,697	8,355	51.0%

出典：アメリカ医科大学連盟（AAMC）（2009）, *Women in U.S. Academic Medicine Statistics and Benchmarking Report 2008 - 2009* より作成

### （3） 医療分野の参画に関する取組

#### ① 女性医師会による取組

女性医師会が中心となり、女性医師に対しワーク・ライフ・バランスに関する情報提供やセミナーを実施している。

#### ② 医学研究分野における取組

- ・ リーダーシップ育成プログラム（ELAMプログラム）

「医学研究におけるエクゼクティブリーダーシップ（Executive Leadership in Academic Medicine（以下ELAMと表記）」は、医学研究分野（Academic Medicine）

<sup>111</sup> 労働省女性局ヒアリング

<sup>112</sup> ドレクセル大学ヒアリング

における女性の進出及びリーダー育成を目的としたドレクセル大学女性医学及びリーダーシップ研究所 (Institute of Women's Health and Leadership) によるプログラム<sup>113</sup>であり、1995年から医学研究、歯科学及び公共衛生分野の女性のリーダーを育成するためのリーダーシップトレーニングを実施している。トレーニングプログラムは1年間であり、女性リーダーのネットワーク構築にも貢献している。

- 「ビジョン 2020 (VISION2020)」

「ビジョン 2020 (VISION2020)」はドレクセル大学女性医学及びリーダーシップ研究所 (Institute of Women's Health and Leadership) が主催しているプログラムである。同プログラムは女性参政権を認めたアメリカ合衆国憲法修正条項第 19 条の批准の 100 周年を記念し開始され、2010 年から 2020 年までの 10 年間の間に、全米から見識者と呼び、両性の平等達成のための課題について話し合う会議など、数々のイベントを行う予定である。

「ビジョン 2020」は女性に対する暗黙の偏見 (Implicit Bias) を無くすことを目的としている。暗黙の偏見とは、人々の潜在意識の中にある偏見や組織の中には認識されていない偏見を指す。このような隠れた偏見が女性の参画、特に意思決定ポジションへの参画の阻害要因となっている。「ビジョン 2020」では、このような偏見が存在することを明らかにしたうえでどのように対処していくかについて議論する予定である。米国ではすべての職業において意思決定ポジションに女性が占める割合が 20%以下といわれており<sup>114</sup>、ドレクセル大学を始めとする研究機関や女性研究者たちは ELAM や「ビジョン 2020」等を通じて女性の参画に関する議論を活性化すると同時に、女性同士がネットワークを強化させることを目指している。

- 医大における女性職員支援

全米の医科大学の連盟である、アメリカ医科大学連盟 (American Association of Medical Colleges : AAMC) の 2004 年-2005 年報告書によると、109 校の医学大学が女性教員のキャリア支援のための取組を実施している。109 校のうち 99 校において女性教員のキャリア支援やリーダーシップ向上のためのプログラムを実施していると回答している<sup>115</sup>。

---

<sup>113</sup> ELAM プログラムホームページ :

<http://www.drexelmed.edu/Home/OtherPrograms/ExecutiveLeadershipinAcademicMedicine.aspx>

<sup>114</sup> ドレクセル大学ヒアリング

<sup>115</sup> AAMC (2005) *Women in U.S. Academic Medicine: Statistics and Benchmarking Report 2004 - 2005*



図表 5-21 医科大学が実施している女性教員のキャリア支援プログラム（2004年）

実施プログラム例	学校数
非公式な会合（茶会、昼食時のディスカッション等）	70
キャリア開発プログラム、レクチャー、ワークショップの開催（学内講師）	70
ELAM 参加へのスポンサー	69
医学分野における女性の参画に関する会議参加へのスポンサー	63
アメリカ医科大学連盟（AAMC）中堅女性職員のキャリア開発セミナーの開催	60
キャリア開発プログラム、レクチャー、ワークショップの開催（学外講師）	60
アメリカ医科大学連盟（AAMC）年次会合への参加	58
アメリカ医科大学連盟（AAMC）若手女性職員のキャリア開発セミナーの開催	55
オフィススペースの改善	35
プログラムのウェブサイトの立ち上げ	31
出版物の発行	14
ニュースレターの発行	13
ビデオ会議の開催	7
女性支援プログラムの実施体制	学校数
学長室からスタッフ及び資金を拠出	35
教務課からスタッフ及び資金を拠出	20
多様性/平等（diversity/equity）担当課からスタッフ及び資金を拠出	3
正式な実施体制は存在しないが、任意のグループにより女性職員の支援体制を構築している	30
正式な実施体制は存在しないが、女性支援プログラム実施のための予算を確保している	7
女性支援プログラムは実施していない	10
その他	4

出典：アメリカ医科大学連盟（AAMC）（2005）*Women in U.S. Academic Medicine: Statistics and Benchmarking Report 2004 - 2005* より作成